

令和4年度

(2022年度)

〔令和4年4月1日から〕
〔令和5年3月31日まで〕

事業報告書

(大阪薫英女学院高等学校・中学校関係抜粋)



学校法人 薫英学園

事業報告書

令和4年度(2022年度)事業報告
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

I 法人の概要

(1) 基本情報

- ① 法人の名称 学校法人 薫英学園
- ② 主たる事務所
住所 〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1
電話番号 06-6381-6548
FAX 06-6319-1505
ホームページアドレス <http://www.kun-ei.ac.jp/>

(2) 建学の精神

本学園は、昭和6年(1931年)に創設された教育機関であり、令和4年6月に創立91周年を迎えました。この間、一貫して堅持してきた建学の精神は「敬・信・愛」です。

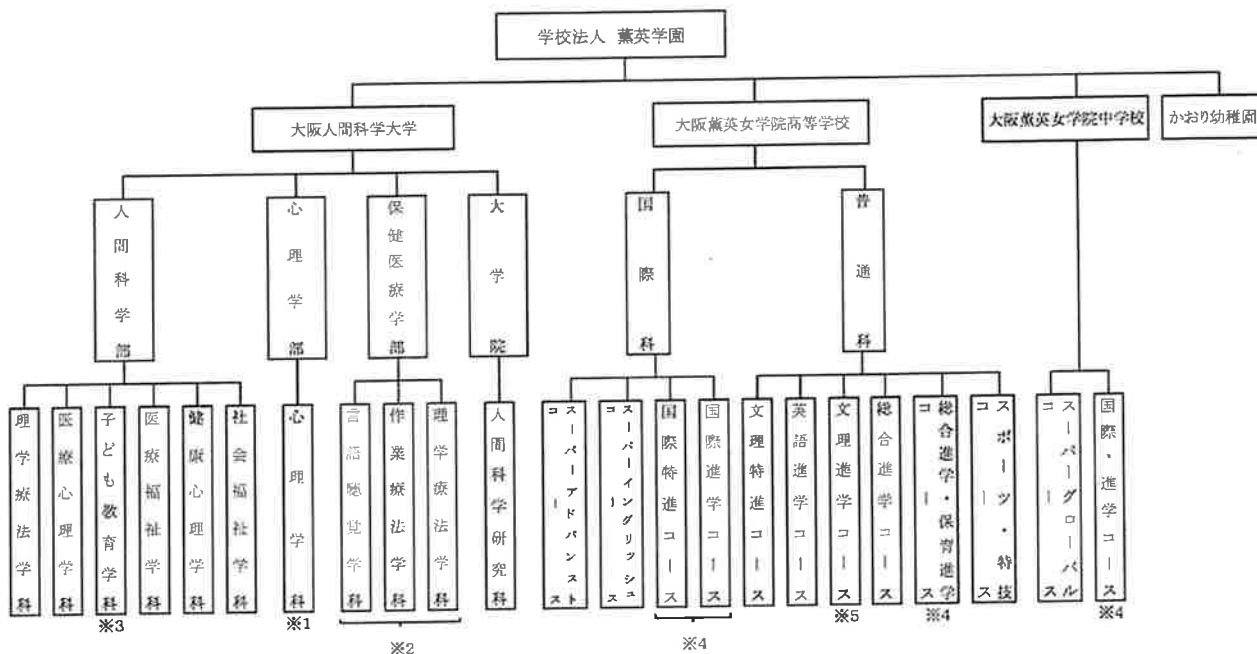
すなわち「人生は、衣・食・住が充たされただけでは幸福ではない。他より尊敬され、信頼され、愛されることが真の幸福である。互いに相敬し、相信じ、相愛し、明るき人生観に生きなければならない。」という建学の精神によって築かれる人間関係は、思想・信条や価値観の異なる人間との共生、環境との共生という、まさに21世紀に求められているテーマである「共生」を追求する根幹をなすものと考えています。

(3) 学校法人の沿革

| | |
|---------------|--|
| 昭和6(1931)年6月 | 私塾薫英女子学院創設(大阪市東淀川区木川) |
| 昭和8(1933)年7月 | 各種学校令による私立薫英女子学院設立認可 |
| 昭和13(1938)年7月 | 薫英女学校(修業年限4年)に名称変更 |
| 昭和16(1941)年3月 | 財団法人 薫英学園設立並びに薫英高等女学校(修業年限5年)設置認可 |
| 昭和18(1943)年4月 | 全校生徒正雀学舎に移転完了(大阪府摂津市正雀) |
| 昭和22(1947)年3月 | 薫英中学校設置認可 |
| 昭和23(1948)年3月 | 学制改革による薫英高等学校設置認可 |
| 昭和26(1951)年3月 | 財団法人薫英学園を学校法人に組織変更認可 |
| 昭和40(1965)年9月 | 薫英中学校廃止認可 |
| 平成2(1990)年4月 | 薫英高等学校普通科に国際コースを設置 |
| 平成8(1996)年4月 | 薫英高等学校に国際科開設 |
| 平成9(1997)年3月 | 大阪薫英女学院中学校設置認可 |
| 平成9(1997)年4月 | 大阪薫英女学院中学校開設 薫英高等学校を大阪薫英女学院高等学校に名称変更認可 大阪薫英女学院高等学校普通科に文理コース・総合コースを設置 |

(4) 設置する学校・学部・学科等【学園組織】

(令和4年5月1日現在)



- ※1 令和2年度から 心理学部 心理学科 を新設
- ※2 令和2年度から 保健医療学部 理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科 を新設
- ※3 令和3年度から 子ども保育学科 を 子ども教育学科 に名称変更
- ※4 令和3年度から 高等学校に 国際特進、国際進学、総合進学・保育進学 中学校に 国際・進学の各コース を新設
- ※5 令和4年度から 高等学校に 文理進学コース を新設

所在地

大阪薫英女学院高等学校（昭和16年4月開設）

〒566-8501 摂津市正雀1-4-1 TEL06-6381-5381

大阪薫英女学院中学校（平成9年4月開設）

〒566-8501 摂津市正雀1-4-1 TEL06-6381-5381

(5) 生徒数の状況

(令和4年5月1日現在)

| 設置校 | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 現員 |
|-------------|------|------|-------|-----|
| 大阪薫英女学院高等学校 | 440 | 189 | 1,320 | 556 |
| 大阪薫英女学院中学校 | 120 | 34 | 360 | 102 |

(6) 収容定員充足率

(毎年度5月1日現在)

| 設置校 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-------------|-------|-------|-------|
| 大阪薫英女学院高等学校 | 0.52 | 0.46 | 0.42 |
| 大阪薫英女学院中学校 | 0.25 | 0.28 | 0.28 |

(7) 役員・評議員の概要 (令和4年5月1日現在)

| 形態 | 定員 | 常勤 | 非常勤 |
|-----|----|----|-----|
| 理事 | 9 | 5 | 4 |
| 評議員 | 19 | 10 | 9 |
| 監事 | 2 | 0 | 2 |

(8) 教職員の概要 (令和4年5月1日現在)

| 設置校 | 教員数 | | 職員数 | | 計 |
|-------------|-----|-----|-----|-------------|----|
| | 専任 | 非常勤 | 専任 | パート タイマー | |
| 大阪薫英女学院高等学校 | 45 | 18 | 14 | 8 | 85 |
| 大阪薫英女学院中学校 | 11 | 5 | 2 | 1 | 19 |

II 中期的な計画及び事業計画の達成状況

[高等学校・中学校関係]

1 教育活動の充実

(1) 学科、コース

【高等学校】

| 学 科 | コ ー ス |
|-----|---|
| 普通科 | 文理特進、英語進学、文理進学、総合進学、 スポーツ・特技、総合進学・保育進学 |
| 国際科 | スーパーアドバンスト、スーパーイングリッシュ 国際特進、国際進学 |

*令和3年度入学生から

普通科：「総合進学」を「総合進学・保育進学」に名称変更

国際科：「スーパーアドバンスト」を「国際特進」に、「スーパーイングリッシュ」を「国際進学」に名称変更

*令和4年度入学生から

普通科：「文理進学」を新設

【中学校】

| 学 科 | コ ー ス |
|-----|--------------------|
| ——— | スーパーグローバル 国際・進学 |

*令和3年度入学生から、「スーパーグローバル」を「国際・進学」に名称変更

2 海外体験（長期留学・短期留学・短期研修・修学旅行）

一昨年から続く、新型コロナウイルス感染症の状況から引き続きニュージーランドへの渡航は不可能でありました。このため、中学校スーパーグローバルコースと高等学校国際特進コース、国際進学コースの生徒全員がカナダに留学することとなり、無事に1年間留学を修了することができました。また、普通科英語進学コースの短期留学に関しては、昨年に続き行先をアメリカ・ハワイ州とし実施しました。短期研修はカナダのブリティッシュコロンビア州チリワックにおいて3年ぶりの実施となりました。高校の海外修学旅行に関しては、7月実施の普通科及び国際科スーパーグローバル国際コースは国内（関東地方）での実施を余儀なくされましたが、新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いた3月に実施したスポーツ・特技コースに関しては3年ぶりのシンガポールでの実施ができました。

（1）長期留学

海外長期留学は、コロナ禍のなか、ニュージーランドでの実施が不可能となったものの、カナダへ高校生及び中学生が1年間留学し、英語力の習得はもとより、国際感覚の醸成や国際交流に努めました。

1988年にカナダ留学から始まった海外長期留学は今回で35回目、これまで約4,500名を超える生徒が留学に参加しています。

世界的なコロナ禍でも継続して、長期留学を実施することができました。

（2）短期留学

普通科英語進学コースでは2012年から夏休みの期間を利用して、約1ヶ月のニュージーランド短期留学を実施していましたが、コロナ禍により一昨年度から中止となり、令和4年度もニュージーランドでの実施が不可能であったことから、他国での実施を模索した結果、7月21日（木）～8月30日（火）までアメリカ・ハワイ州での実施となりました。

3 生徒募集

少子化が進み、共学志向が強まる中で、喫緊の課題である生徒確保に向け、保護者・生徒（児童）対象の進学説明会や個別相談会、校内オープンキャンパスなどの開催に加え、学校・塾への訪問を積極的に行うなどの取り組みを行いました。

中学校では、これまでに引き続き、中高一貫教育とオリジナルの英語教育、海外体験をアピールしました。また、大手進学塾との連携も進めました。また、高等学校については、留学制度を中心とする国際的視野の涵養や英語教育及び有名大学への豊富な進学実績という、本校の特色をアピールして定員確保に努めました。しかし、内部、外部説明会は新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により入場制限を余儀なくされるなど難しい状況となりました。

これらの募集活動の結果、高等学校募集では受験者数の増加とはなりませんでしたが、中学校募集においては、受験者数の増加という一定の成果がありました。

（1）生徒・保護者対象進学説明会（Web対応を含む）

| | | | | |
|------|-------|----|------|-------|
| 高等学校 | (実施回数 | 9回 | 参加件数 | 756件) |
| 中学校 | (実施回数 | 8回 | 参加件数 | 177件) |

(2) プレテスト

中学校受験希望者を対象に実施し、102名が受験しました。

(3) 塾対象学校(入試)説明会

春の説明会(学校内) 115 塾 秋の説明会(ホテル) 150 塾

4 「英検」(実用英語技能検定)の実績

令和4年度、本校に在籍する生徒の中で「英検」各級取得者数は、1級3名、準1級33名、2級233名、準2級462名、3級258名と大きな成果を収めています。特に、1年間留学体験をした国際科の生徒2人に1人が準1級以上合格となりました。なお、高校生が取得できる割合が1%といわれる超難関の1級合格は21年連続を更新しています。

5 進学実績

進学実績は、中高一貫教育の強みを活かしながら、国公立大学や早慶上智・関関同立などの難関私立大学へ多数の合格者を出しています。令和4年度は、参加することで生徒が自ら学ぶ力を高め、学習習慣の定着を支援する「薫英放課後学習支援システム(KAS)」を新たに導入するなど学力向上への取組みを一層進めました。合格実績は延べ484名となり、内訳は国公立大学3名、早稲田、上智などの首都圏難関私立大学10名、関関同立は4年ぶりに3桁台の106名、産近甲龍76名、外国語系大学57名等となっています。

6 Kun-ei Kidsの実施

Kun-ei Kidsとして、小学校5・6年生を対象に、5月から11月にかけて8回にわたり英会話講座を開講し、72名の参加者がありました。参加者は、本校の様子を身近に知ることができるなど、本校受験への大きなきっかけとなっており、募集対策の一因ともなることから、引き続き内容の充実に努めました。

また、大阪人間科学大学人間科学部子ども教育学科の学生も参加し、学生にとっても良い実習の機会ともなりました。

7 薫英杯女子中学生英語スピーチコンテストの実施

ニュージーランド、カナダの両大使館、大阪府教育委員会などの後援を得て、文化の日に実施しました。昨年度に引き続き、定型暗誦のスタンダードの部と自由暗誦のアドバンスドの部の2部門とし、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策としてDVDによる予選審査をあらかじめ実施し、その後本選で暗唱発表をする形態での実施となりました。併せて、Kun-ei Kids参加者の小学生が参加し、英語の発表を披露しました。

8 その他（クラブ活動実績）

（1）陸上競技部

ア．陸上競技部は、女子第 38 回大阪高等学校駅伝競走大会において優勝し、大阪府の代表として女子第 34 回全国高等学校駅伝競走大会に 17 年連続 17 回目の出場を果たし、本大会は第 6 位となりました（入賞 10 回目）。3 年生の水本佳菜は 1 区の区間賞を獲得しました。

イ．卒業生の松田瑞生（ダイハツ）は令和 4 年 7 月に行われた世界選手権大会（アメリカ・オレゴン州）に出場し、第 9 位となりました。

ウ．皇后杯第 41 回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会では、水本佳菜や松田瑞生の活躍もあり、大阪府チームが 8 年ぶり 4 回目の優勝となりました。なお、松田瑞生は 9 区で区間賞を獲得しました。第 75 回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会（全国インターハイ）の 1500m と 3000m で水本佳菜がそれぞれ第 3 位、第 4 位に入賞、また、第 34 回選抜女子駅伝北九州大会では第 2 位など輝かしい結果を残しました。

（2）バスケットボール部

ア．中学校バスケットボール部は、7 月の第 76 回大阪中学校バスケットボール選手権大会は優勝、続く第 77 回近畿中学校バスケットボール選手権も優勝となりました。そして 1 月上旬に行われた全国 U15 バスケットボール選手権大会（第 3 回 Jr ウィンターカップ）では、初優勝を飾りました。この大会では、本校から 3 名がベストメンバーに選出されました。

イ．高等学校バスケットボール部は、6 月の第 77 回大阪高等学校総合体育大会バスケットボール大会は優勝、第 69 回近畿高等学校バスケットボール選手権大会も優勝、8 月の第 75 回全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会（インターハイ）は準優勝、12 月の第 75 回全国高等学校バスケットボール選手権大会（ウィンターカップ）はベスト 8 となりました。また、新設の全国トップレベルの高校で競う U18 日清トップリーグでは 8 チーム中の 4 位となりました。

以上